

## 公称25m競泳プール公認チェックシート

公 認 No. \_\_\_\_\_

公認年月日 . . .

プールの名称	屋外・室内 (いずれかを○で囲む)	プール所有者
プール躯体の材質	所在地	

(一般・国際・標準のいずれか及び50mプールとの併用の場合のいずれかを○で囲むこと)

## チェック内容

(各項目はすべて図面上に明示し、図面番号を記入のこと)

項目	一般プール	標準プール	国際プール	申請内容	図面番号	公認測量者所見	日本水泳連盟記入欄	
長さ等	長さ	長さ25.01m (片側タッチ板) 25.02m (両側タッチ板) 許容過長値 0～+10mm	長さ25.02m (両側タッチ板) 許容過長値 0～+10mm	m		別紙測量結果一覧表の通り		
	壁面の凹凸等							
幅等	レーンの数	5コース以上		10レーン	レーン	レーン		
	レーン幅	2.00～2.50m	1.80～2.50m	2.50m	m	m		
	レーン外余幅	0.20m以上で休息だなの幅以上		0.00m以上で休息だなの幅以上	休息だなの幅 m	休息だなの幅 m		
	全幅	10.4m以上	9.4m以上	25.0m	m	m		
水深	水深1.00m以上 (1.35mを推奨)	小中学校プール 0.80m以上 (1.00m以上を推奨)	2.00m以上 (最適3.00m)	最浅	m	最浅	m	
		小中学校プール以外 1.00m以上		最深	m	最深	m	
	水球用2.00m以上				m		m	
端壁面の構造	滑り止め仕様 (端壁上端から水面下0.80m以上まで)		同左	水面下	m	適・不適		
	水面上の立ち上り	タッチ板を装着する端壁: 0.30m	0.30m	0.	m	適・不適		
		タッチ板を装着しない端壁: 0.20m以上～0.30m以下		0.	m	適・不適		
幅	0.20～0.30m		同左	0.	m	0.	m	
色	暗色 (色面記入のこと)		同左	底面 色		適・不適		
				端壁 色		適・不適		
床面	端壁から2mまで		同左	有		適・不適		
端壁	水面上の立ち上り (原則として端壁上面まで。0.10m以上)		同左	0.	m	適・不適		
クロスライン	床面レーンライン両端に1m長、 端壁水面下0.3mに0.5m長		同左	有		適・不適		
スタート台	材質	(材質名)		(材質名)		適・不適		
	面積	0.50m×0.50m以上		0.50m×0.60m以上	m×m	m×m		
	高さ (水面上)	0.50～0.75m		同左	0.	m	0.	m
	傾斜角	10度以内		同左	度	度		
	表面仕上げ	滑り止め仕様		同左	有		適・不適	
	ターン側	同様のスタート台の有無		スタート台設置	有		適・不適	
	前方飛込スタートグリップ	両面・両サイド		同左	有		適・不適	
	背泳ぎ用スタート握り	水面上0.60m以下で水面上0.30mにタッチ板上端がくるようにして使用可能な高さ		同左	水面上 0.	m	適・不適	
		水平又は垂直		同左	水平・垂直		適・不適	
		端壁面より突出させない		同左			適・不適	
レーン番号	ブロック式4面、連続式前面		同左	有		適・不適		
配列	右端を1レーンとする。10レーンは0レーンとする		右端を0レーンとする			適・不適		
据付	固定式・着脱式の別		同左	固定・着脱		適・不適		
背泳ぎ用ターン標識	両端壁から5.0m		同左	m		m		
	ロープの高さ1.8m以上2.50m以下		同左	m		m		
端壁の背泳ぎ用チェック標識	端壁から各15m		同左	有		適・不適		
不正出発防止用ロープ	スタート台から15.0m		同左	m		m		
	水面上の高さ1.20m以上		同左	m		m		
レーンロープ・パイ	直径50mm～150mm以下		同左	mm		適・不適		
飛込みプールとの間隔	屋外10.0m以上、屋内5.0m以上		同左	m		m		

公 認 測 量 者 署 名 ・ ㊟

審 査 担 当 委 員 署 名 ・ ㊟